

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

14108

市民スポーツ広場管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	市民スポーツ広場管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	細尾 佳広 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図ることを目的とする。		市民スポーツ広場の管理運営業務を、指定管理者が自らの創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。			
事業内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	15,679	15,594	16,387	16,336	16,408	16,406	16,535	0	0	0
伸び率(%)	△3.3%	△27.5%	4.5%	4.8%	0.1%	0.4%	0.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,319	931	935	935	943	1,022	2,515	0	2,515
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,319	931	935	935	943	1,022	2,515	0	2,515
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,408	2,463	2,491	2,407	2,423	2,177	2,373	0	0	0
一般財源(税等)	13,271	13,131	13,896	13,929	13,985	14,229	14,162	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.17	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13	0.32	0.00	0.32
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 15,736千円、所々修繕料 500千円、施設設備保守委託料 294千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	箇所	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
スポーツ広場数				1	1	1	1	1
				1	1	1		
				100%	100%	100%	%	%
利用件数		件		3200	3200	3200	3200	3200
				2204	2101	1821		
				68.88%	65.66%	56.90%	%	%
利用人数		人		84293	84293	84293	84293	84293
				56480	61699	54656		
				67.00%	73.2%	64.84%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民スポーツ広場は、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成18年度から市民スポーツ広場の指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態で提供できるように努めている。
見直し・改善内容	市民スポーツ広場は整備から30年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、設備器具のメンテナンスなどの適正な維持管理を行い、施設使用者が安心・安全に使用できるようにする必要がある。また、ジュニアサッカーグラウンドの拡充について検討する必要がある。